

カナダの金融市場動向 Weekly Report

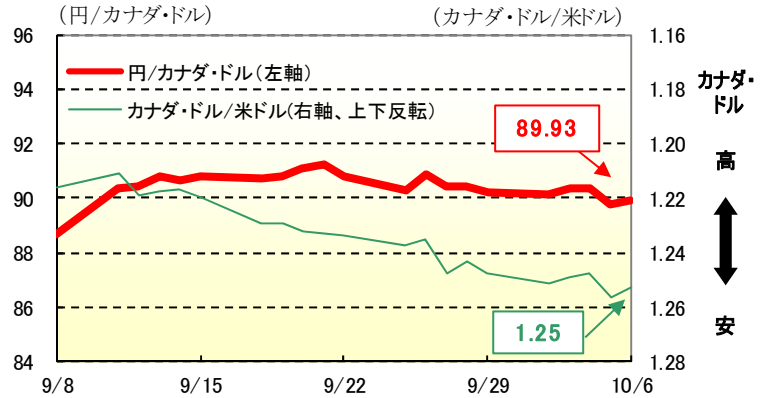
【2017年9月30日～2017年10月6日の推移】

【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円はほぼ横ばいで推移し、カナダ5年国債利回りは上昇しました。

先週は、カナダで発表された貿易収支が市場予想以上の赤字額となったことなどが金利低下やカナダ・ドル円の下落圧力となりました。一方で、米国で発表された雇用統計において失業率や平均賃金が良好な労働市場を示す堅調な結果となり、米国の金利が上昇したことなどが、カナダの金利やカナダ・ドル円の上昇圧力となりました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2017年9月8日～2017年10月6日)

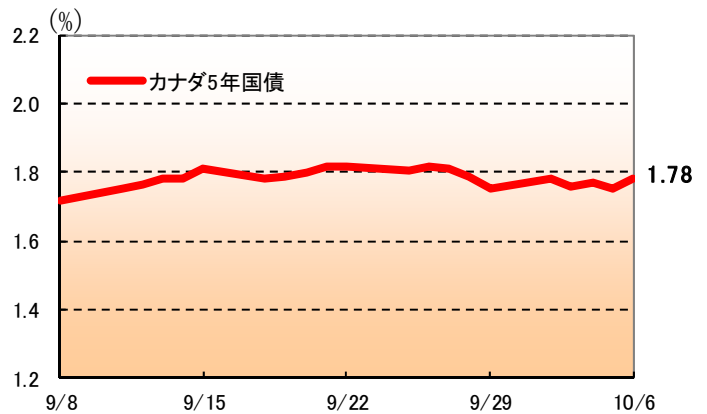


※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

【2】今週の見通し

今週は、カナダ独自の材料は乏しく、海外要因に左右されやすい展開が見込まれます。特に米国で発表されるCPI(消費者物価指数)や小売売上高に注目が集まりそうです。これらが市場予想を上回る堅調な結果となれば、米国の金利が上昇し、それに連れてカナダの金利やカナダ・ドル円の上昇圧力が高まるとみています。

【カナダ 金利推移】 (2017年9月8日～2017年10月6日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>